

## 「新型コロナウイルス感染拡大防止」に向けての労使メッセージ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言の対象地域が、宮城県を含む全国に拡大されるに至った。

こうした状況を踏まえ、この度、(一社)宮城県経営者協会と、日本労働組合総連合会宮城県連合会(連合宮城)とは、感染防止や雇用維持・確保等のため、労使一体となった取り組みを推進していく必要があるとの認識で一致し、以下のメッセージをそれぞれ発信した。

### 【宮城経協】

- ・雇用調整助成金の特例措置など、行政による支援等も活用しながら、事業の継続と雇用の維持・確保に全力で努めていくことが重要である。
- ・令和2年度卒業予定者等が十分な就職活動を行えるよう、多様な通信手段を活用した説明会など、採用活動においても、できる限り配慮いただきたい。
- ・通勤時ならびに執務時における「3密(密閉・密集・密接)」を回避するため、可能な限り、テレワーク(在宅勤務)や時差出勤を促進していただくようお願いしたい。
- ・手洗い、マスクの着用、適宜の換気、および事業所内で従業員が触れることがある物品・機器等の消毒など、衛生対策を講じることも重要である。
- ・感染症の拡大防止や、休校に伴う子どもの世話等のため、労働者が休みやすい職場環境の整備に努めていただくようお願いしたい。

### 【連合宮城】

- ・「感染拡大防止」が最優先課題。「緊急事態宣言」を重く受け止め、徹底的に3密を回避し、事態の早期収束を図る。とりわけ医療提供体制が脆弱な地域社会および地域経済を守ることが重要である。
- ・各企業においては、医療従事者をはじめ、とりわけ社会生活を支える仕事に従事している労働者の感染防止、過重労働防止、安全衛生に万全を期していただきたい。
- ・中小・零細企業を含めた働く者の雇用の維持に向けて、最大限、努力いただきたく、サプライチェーン全体での取り組みの徹底をお願いしたい。
- ・経済・社会活動は、パート、契約社員、派遣労働者、フリーランスなども含めた多様な働き手によって支えられている。どのような働き方でも、安全衛生はもとより、生活を保障する手立てが重要である。

以 上

令和2年4月27日

(一社)宮城県経営者協会  
会 長 海 輪 誠

日本労働組合総連合会  
宮城県連合会(連合宮城)  
会 長 小 出 裕 一